

第4次野辺地町行財政改革大綱 実施計画

改革事項	(2)組織・機構の見直し			ア 新規行政需要に対応する組織・機構の見直し
改革項目	みちのく丸利活用検討室(仮称)の設置検討		担当部署	総務課
年度計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
年度目標	地域戦略課内に「みちのく丸利活用検討室(仮称)」設置について検討			
実施概要	人員数、業務内容等について検討する。			

年度計画	平成28年度			
年度目標	地域戦略課内に「みちのく丸利活用検討室(仮称)」設置について検討			
実施状況 及び 今後の 進行計画	1. 実施状況 … 「みちのく丸利活用検討室(仮称)」を設置することは、施策をより計画的かつ効率的に進めていくには、効果的ではある。 しかし、現在は商工観光振興班でみちのく丸に係る業務を行っており、同班内でお互いに協力し人員の融通を図ることで商工観光事業と「みちのく丸事業」が円滑に推進している。 みちのく丸利活用の推進は重要課題であるが、職員を増員して商工観光振興担当又は新設する検討室へ人員設置するのは困難性があり、全体の機構改革で検討しなければならない。現在の体制の中で、効果的な事業の推進について、継続して検討していくこととする。			
問題点等				

年度計画	平成29年度			
年度目標	人員配置及び機構改革を検討(年度目標の修正)			
実施状況 及び 今後の 進行計画	北前船寄港地フォーラムの開催に向け、地域戦略課内において企画政策班と地域振興班で職員の人員配分の変更を行い、北前船寄港地フォーラムを実施した。 機構改革については、引き続き検討していくこととする。			
問題点等				

年度計画	平成30年度			
年度目標	人員配置及び機構改革を検討(年度目標の修正)			
実施状況 及び 今後の 進行計画	みちのく丸の常夜燈公園への陸揚げにより、船内見学会の実施などの業務が増加している。 休日等の出勤など、職員の負担が大きいため、その改善に向け引き続き検討していく。			
問題点等				